

# 「不易流行」

くよき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさない(流行)によって、

「理想」を創造する

## 『気持ち新たに 新年度のスタート』

奥大山ひな祭りコレクション2017のスタートされた日にこの原稿を書いていきます。江府町の春の風物詩になったこのイベントを見るために訪れた多くの人で、江尾の町はにぎわっています。まだ雪の残っている集落もあるようですが、いよいよ江府町も本格的な春を迎えます。

新年度がスタートすると、3月に開催された定例町議会でお認めいただいた平成29年度当初予算の執行を速やかに進めていかなければなりません。目玉となる事業の一つが集落の総合点検です。これは、役場職員が班を編成して、集落に出かけて行き、生の声を伺いながら、課題の共有、解決策の検討などを行うもので、班編成した職員が責任を持って受け持った集落の後押しをしていく仕組みです。町民の皆さんと行政が一緒になってこれからの江府町づくりに取り組んでいけるよう努力しま



すので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

そして、これも3月議会でご承認いただきましたが、新しい役場庁舎の整備場所が、旧江府中学校跡地に決まりました。長年の懸案事項の解決に向けた一歩を踏み出すことになりました。今後は、町民の皆さんや職員の声も伺いながら、新庁舎の整備内容について検討を重ねてまいります。平成29年度中に整備内容を固め、平成30年度には設計に着手したいと考えておりますので、積極的なご意見、ご提案をいただければと思います。

また、この時期には卒業式、入学式、送別会、歓迎会等、数多くの別れと出会いの場面があります。役場も人事異動等により、新しい顔ぶれで町民の皆さんと向き合っています。常に「住民目線」で仕事に取り組んでまいりますので、温かい気持ちで叱咤激励をいただきますようよろしくお願ひいたします。

# 「3000人の楽しい町」 プロジェクトチーム報告



▲半年間の活動報告を行いました

さて、半年間の私たちの活動の中で3000人の楽しい町にするために見えてきたことがあります。

### ①対話の場づくり

3000人いれば3000通りの「楽しい」がある。それをどう組み合わせるのか、優先的に何をするのか、自由に意見を言える雰囲気の中で決めていくことが求められる。

### ②役場の業務改善

日々住民の方から役場に寄せられる多様なニーズ。一方で現状は職員もいっぱいいっぱい。住民ニーズの実現の為に職員がいきいき働ける業務改善も必要。

### ③情報の共有

つい後回しになりがちな情報共有。しかし、まちづくりは『みんな』のもの。『みんな』を作るには、情報を流し共有すること。情報が参加の意識を育む。

今後はこの3点を少しずつ具体化していく活動をしていきます。まだまだ始まったばかりでじわじわとしか変わらないかもしれませんが、確実に変わります。

今年度最後の公開会議では「みんなで話し合いをしながら町の方向性を決めよう」というゲームをやってみました。たくさんの方々の事業を限りある予算の中でどのように行っていくかというもので、事業を組み合わせることで効果があがるという意見もありました。今後また皆さんのアイデアが生まれる自由な話し合いの場所を地域でグループで作っていったらいいなと思っております。

動画で町報こうふ!  
  
前回の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。